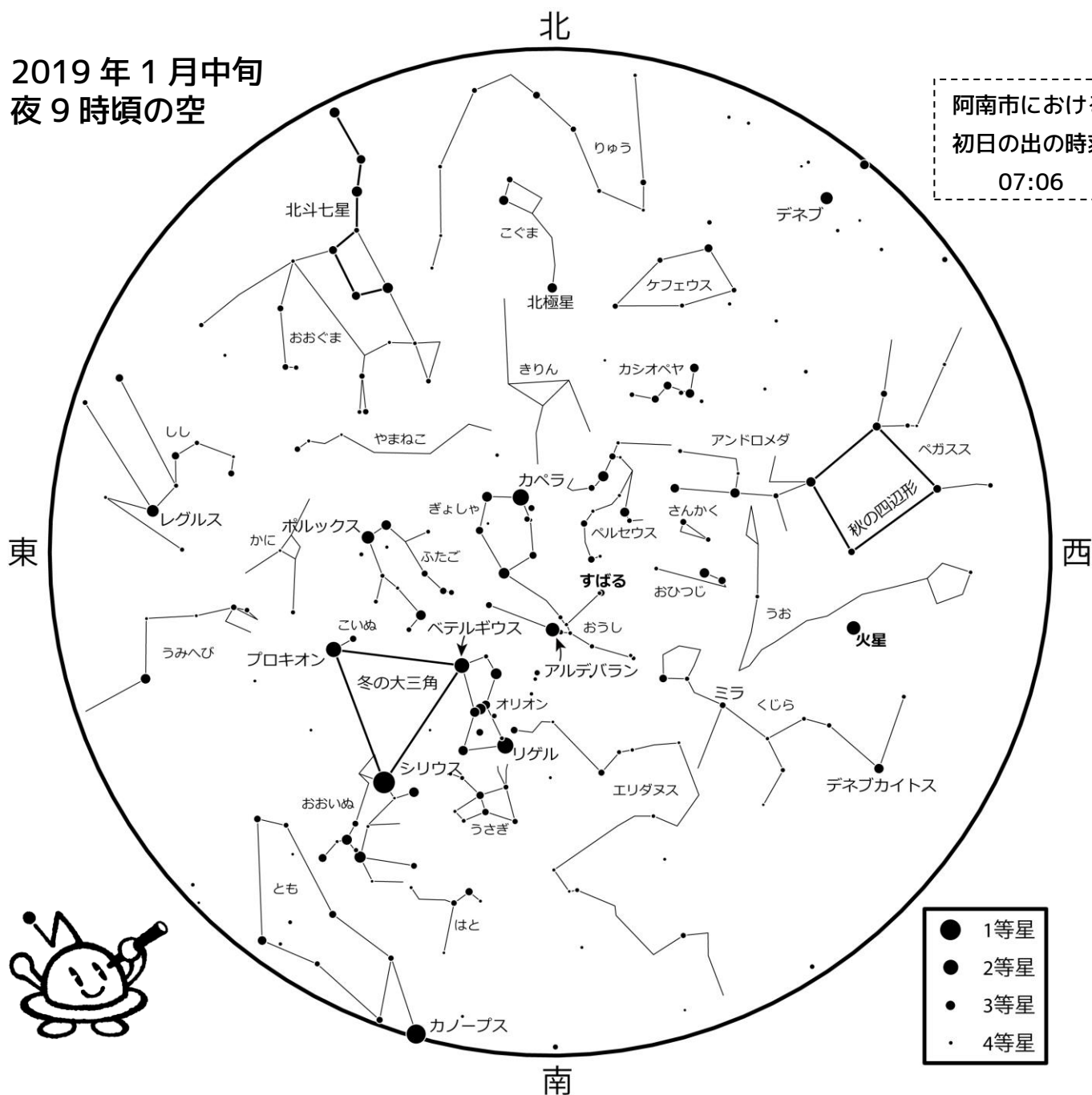


阿南市科学センター 1月の星空案内

2019年1月中旬
夜9時頃の空

阿南市における
初日の出の時刻
07:06







冬の夜空には明るい1等星たちが7つも輝き、冬の澄んだ空気と相まってきらびやかな夜空を楽しむことができます。冬の星座の代表オリオン座には赤い星ベテルギウスと青白い星リゲルが輝いています。日本では歴史に登場する平家と源氏の旗色になぞらえ、ベテルギウスのことを**平家星**、リゲルを**源氏星**と呼ぶこともあります。ちなみに、オリオン座の近くには全天で一番明るいシリウス（おおいぬ座）、そしてプロキオン（こいぬ座）が輝き、ベテルギウスとあわせれば**冬の三大角**を形作ることができます。その他、アルデバラン（おうし座）、カペラ（ぎょしゃ座）、ポルックス（ふたご座）も明るく目立つ星なので、是非探してみてください。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名称	新月	上弦の月	満月	下弦の月
形状				
見える日	1月6日	1月14日	1月21日	1月28日

◇ 惑星について

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	1月上旬、夜明け前に東のごく低空で見えるが、観察には適さない。	明け方頃、明けの明星として東の空で見える。1/22に木星と接近する。	日没後、南西の空に見える。	夜明け前、南東の低空で見える。1/22に金星と接近する。	1月下旬、夜明け前の東のごく低空で見えるが、まだ観察には適さない。
明るさ	約0等	約-4等	約0.5等	約-2等	約0.5等

◇ おすすめの天文現象・天体

【約3年ぶりの部分日食】

新年早々、2019年1月6日(日)は約3年ぶりに国内で部分日食を見ることができます。阿南市では朝8:40から太陽が欠け始め、9:55には食が最大の状態になり、11:19に日食が終了します(図1)。県下ではおよそ24パーセント太陽が欠け、日食眼鏡(太陽用遮光板)を使えば、手軽に観察することが可能です。なお、2019年は一年間に2回も部分日食があり、次回は12月26日(木)に見られます。このときも、1月6日と同じくらい欠けます。

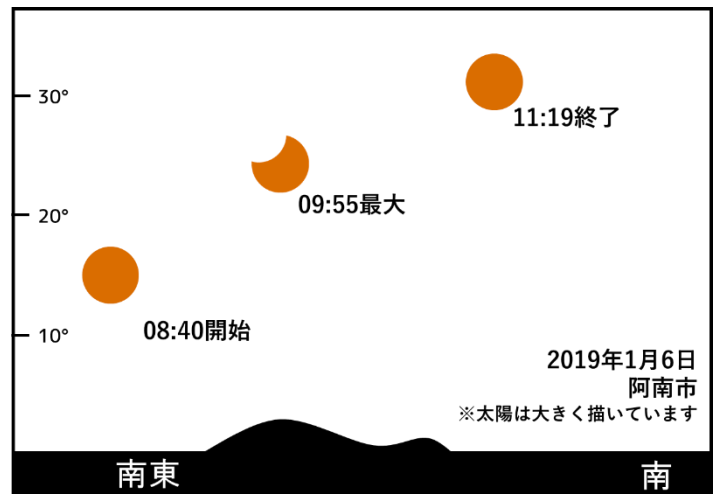


図1: 阿南市における部分日食の様子(2019年1月6日)。

【星の赤ちゃんトラペジウム】

冬の夜空の代名詞ともいえるオリオン座には、オリオン大星雲(M42)と呼ばれる天体があります。主に水素からなるこの星雲は、星を作るための材料が豊富にあることから、数々の新しい星が誕生する現場としても有名です。オリオン大星雲は望遠鏡で観察すると星雲の淡い光が拡がるとともに、星雲の中心部にはトラペジウムという4つの星が台形型に仲良く並んでいます(図2)。この星々の年齢はおよそ数十万歳と言われ、恒星の世界では生まれたての赤ちゃん星だと考えられています。この季節、科学センターの大型望遠鏡で是非ご覧いただきたい天体の一つです。

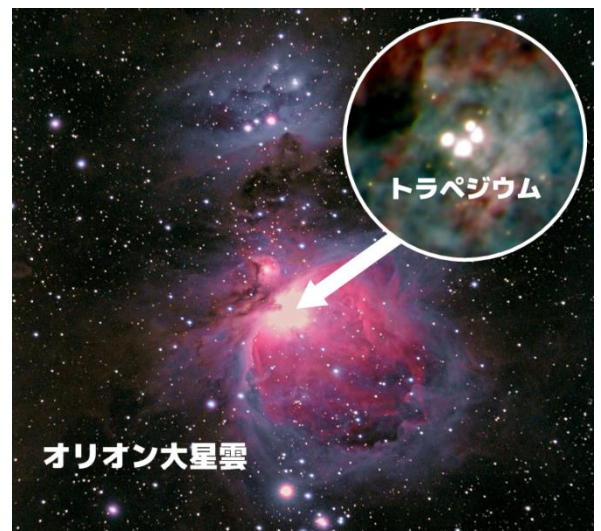


図2: オリオン大星雲とトラペジウム。